

医科新聞 3月号

花粉症の話題

医療法人社団慶実会

グレースデンタルメディカルクリニック横浜分院

神奈川県横浜市緑区長津田町 2258-2

花粉シーズンですが、環境省によると、東京や神奈川など 12 都府県で、花粉を飛散させる雄花の芽の数が多く非常に多い量の花粉が飛散しています。東京、神奈川では、過去 10 年間で最も多く、花粉の飛散量が非常に多くなります。



例年比 ▽東京は 150% ▽神奈川は 194%

去年の夏に日照時間が長く、気温が高い日が多くなった為です。

日本での正確な人数はわかつていませんが、花粉症の有病率は

▽2008 年には 29.8%、▽2019 年には 42.5% で増加しています。

花粉の飛散が多いと症状が強くなり、これまで症状がなかった人も初めて発症する場合もあります。花粉症の症状である鼻づまりやくしゃみなどが仕事の能率に大きく影響を与えます。花粉症患者の多くは睡眠障害も訴えていて、日中の仕事での集中力に影響が出るとか昼間に眠気が来るおそれがあります。

view39

現在、アレルギー検査で調べられる項目数は 200 種類以上あり、1 回の採血によって 1 種類から複数種類の特異的 IgE 抗体を調べることが可能です。何に対してアレルギーが出ているのか分からぬ場合は“view39”と呼ばれる、アレルギー症状を起こしやすい 39 項目の代表的なアレルゲンを一度に検査できるセットがおすすめです。

調べられる項目は、吸入系・その他アレルゲン（ヤケヒヨウヒダニやハウスダスト、ガ、ゴキブリ、ラテックス、カモガヤ、オオアワガエリ、ブタクサ、シラカバ、スギ、ハンノキ、ヒノキ、ヨモギ、カンジダ、アルテルナリア、アスペルギルス、マラセチア、猫や犬のフケ）の 19 種類に加え、食べ物系（卵白や牛乳、小麦、牛・鶏・豚の肉、大豆、ピーナッツ、米、ゴマ、マグロ、サケ、サバ、エビ、カニ、オボムコイド、ソバ、リンゴ、キウイ、バナナ）20 種類を調べることができます。血液検査にかかる費用は、view39 の場合は保険適用で 5,000~6,000 円ほど、検査項目がさらに多い 219 項目は保険適用外で全額自己負担となります。

IgG フードアレルギー検査(約 190 項目)

アレルゲンとなる食べ物に対する IgG 抗体の量を採血によって調べます。実際の検査では、少量の血液で 192 項目の検査することができます。

原因が分からぬ慢性的な症状がある場合に、検査で分かります。

IgG フードアレルギー検査(192 項目)

自費 約 40000 円

(医療法人社団 慶実会 / 振津医師)

